大学院理工学研究科RA研究発表会

Poster session, 'RA' Graduate School of Science and Engineering, CHUO UNIV.

日　　時	2026 年 12月 4 日（金） 15:30～16:30 ポスター展示（自由見学） 16:30～17:30 ポスターセッション（発表者全員参加） 17:30～18:15 懇親会
共　　催	研究開発機構・社会共創推進機構
場　　所	中央大学後楽園キャンパス 3 号館 14 階　セミナールーム A・B
発 表 方 法	ポスター展示及びポスターセッションにより発表を行います。
参　　加	参加無料。ご自由にお入りください。
問 合 せ 先	中央大学研究支援室（理工学研究所担当） rikoken-a-grp@g.chuo-u.ac.jp

◇17:30 ご挨拶
◆理工学研究所長　大隅　久
◆研究開発機構長　志々目 友博

◇18:15 ご挨拶
◆理工学研究科委員長　庄司　裕子

※「研究テーマ」は変更となる場合があります。

専攻		RA氏名	研究テーマ	研究代表者
数学	1	髙橋　優太	高次元射影多様体上の Ulrich 束に関する研究	渡邉　究
物理学	2	田中　憲成	ゲージ・重力対応とその応用	中村　真
都市人間環境学	3	川井　和奏	fNIRS 計測における新規皮膚血流ノイズ除去法の開発	檀　一平太
	4	PRATIWI Cristin Harnita	Covert Eye-Tracking(CovET)法のブランド価値評価への適用	
	5	德田　達彦	非地震性津波のメカニズムの解明及び津波予測の高度化に関する研究	有川　太郎
	6	福島　千乃	開水路における流れの三次元構造とその工学的利用	手計　太一
	7	藤本　寛生	東南アジアの水文データ未観測流域における水災害レジリエンスの向上	
	8	都築　航太	東南アジアの水文データ未観測流域における水災害レジリエンスの向上	
	9	内藤　礼菜	Virtual Reality を用いた津波避難行動の解明に関する研究	有川　太郎
	10	宅和　佑悟	ダム上流域における水収支・土砂収支に関する研究	樫山　和男
	11	Bienvenu KWIZERA	即脱性向上を目指した新規即脱コンクリートの微細構造解析と強度特性の相関解明	三苫　好治
	12	田城　颯大	窓外自然景観が熱的快適性に与える影響の検証	原田　芳樹
	13	BAI Zixuan	標的試験模倣を用いたメトホルミンと高カリウム血症の間の安全性シグナルの評価	竹内　文乃
	14	満田　邦晃	QCM による PFAS の吸着メカニズムの深化	山村　寛
精密工学	15	HUANG Zhitai	複雑 DNA 凝縮体の形成および動的制御のための VILV プラットフォームの性能評価 PERFORMANCE EVALUATION OF A VILV PLATFORM FOR FORMATION AND DYNAMIC REGULATION OF COMPLEX DNA CONDENSATES	鈴木　宏明
	16	梶原　美紀	マイクロ・ナノ粒子の高速飛翔技術の開発と材料長寿命化に関する研究	米津　明生
	17	川嶋　優月	充放電サイクルによる二次電池電極の劣化機構解明とサイクル技術に関する研究	
	18	小川　将喜	衝撃負荷速度領域における CFRP 接着接合体のマルチスケール強度発現機構解明に関する研究	
	19	和田　紘樹	精密細胞操作に向けた微小物体操作手法に関する研究	早川　健
	20	栗原　壮汰	細胞スフェロイドのハイスループット機械的特性取得のための流路統合型超音波計測システム	
応用化学	21	藤澤　隼矢	動物用アルブミン製剤 "ポリオキサゾリン結合ブタ血清アルブミン"の有効性評価	小松　晃之
	22	馬鳥　沙希	水素バブルで自走する高分子チューブマイクロモーターを用いたウィルス検出システムの創製	
	23	古山　雄貴	高対称性原子価互変異性錯体の創成とその多重機能	張　浩徹
	24	鈴木　里麻	線形モデルの特性を活かした機械学習ポテンシャルのオンデマンド構築	森　寛敏
	25	野上田　光織	既知素反応ネットワークを起点とする燃焼反応空間の自動拡張：Chain-AFIR 法	
	26	元木　康平	イミド系医薬品のラセミ化における協調的なプロトンリレー経路	
ビジネスデータサイエンス	27	江藤　大貴	潜在的な認知バイアスの可視化による気づきの提供と行動変容	加藤　俊一
	28	小島　太陽	感情の評価理論に基づく対話エージェントとの評価差を用いた思考振り返り支援：自己関連思考の受容への影響	
	29	ZHANG LIWEN	緊急情報伝達におけるアバターおよび公共ポスターの顔特徴と印象評価に関する日中比較研究	
電気・情報系	30	小西　優一	高周波電磁波の円偏光近接場生成技術の開発	河野　行雄
	31	小田原　遼河	カイラリティを有する表面フォノンポラリトンの実証と制御	
	32	大越　新	バイオコンピュータ構築に向けた有機マイクロデバイスの研究	吉田　昭太郎
	33	村上　達哉	生体電気計測のための微小有機電極の研究	
	34	大輪　健介	彩色相関クラスタリング問題に対する固定パラメータアルゴリズムの設計	福永　拓郎
	35	高良　明日香	量子情報処理の理論	松崎　雄一郎

RA（リサーチ・アシスタント）制度は、中央大学が主体的に行う共同研究プロジェクトの研究活動の補助業務を行い、研究活動の強化・充実を図り、併せて大学院生の研究能力の向上に資するものです。お気軽に会場までお越しください。